

県民の政治意識 第50回モニター調査

報告書

(2020年7月21日～8月4日調査)

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果 概要	4
	*クロス集計	20
	*記述回答	39
	*単純集計	52
III	調査票	54



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 目的・設計・回答状況

◆目的

本調査は、1995（平成7）年から年2回程度、実施しています。節目の50回目となる今回は、新型コロナウイルス対策が最大の課題となる中、政府の対応はどう評価され、補償や支援の現状はどう受け止められているかなど、「コロナ」関連を軸に設問。衆議院の早期解散や安倍晋三首相の自民党総裁続投に対する賛否なども含め、県民の政治意識を探ります。

◆設計

- ▽調査時期 2020年7月21日（調査票発送）～8月4日（回収締め切り）
- ▽調査対象 長野県世論調査協会に登録しているモニター547人
※性別や年代別、選挙区別の比率が長野県の縮図に近づくよう選定している
- ▽調査方法 調査票を郵送。回収は、郵送の他、ファクス、インターネット、電話による聞き取り

◆回答状況

- ▽有効回答 534人（男性255人 女性279人） 回答率97.6%

[回収方法別の内訳]（ ）内は比率

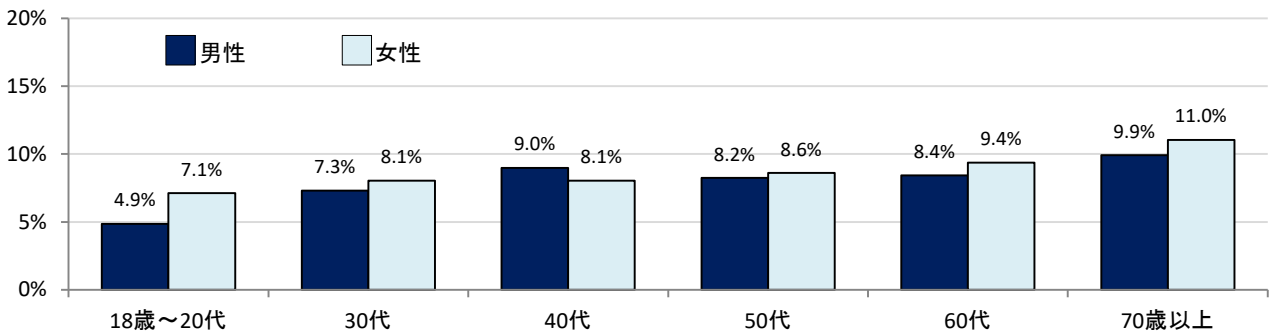
郵送	299人（56.0%）
ファクス	105人（19.7%）
インターネット	121人（22.7%）
電話による聞き取り	9人（1.7%）

【注】報告書のパーセント数字は原則、小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある

有効回答の内訳

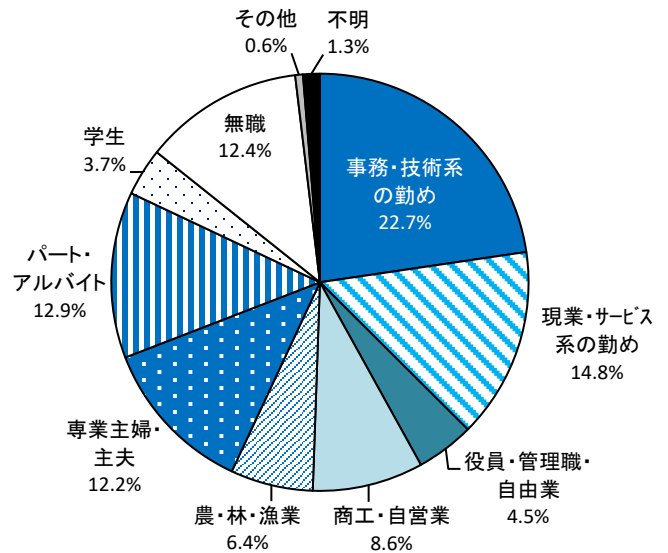
【性別と年代】

	合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	534	64	82	91	90	95	112
	100.0%	12.0%	15.4%	17.0%	16.9%	17.8%	21.0%
男性	255	26	39	48	44	45	53
	47.8%	4.9%	7.3%	9.0%	8.2%	8.4%	9.9%
女性	279	38	43	43	46	50	59
	52.2%	7.1%	8.1%	8.1%	8.6%	9.4%	11.0%



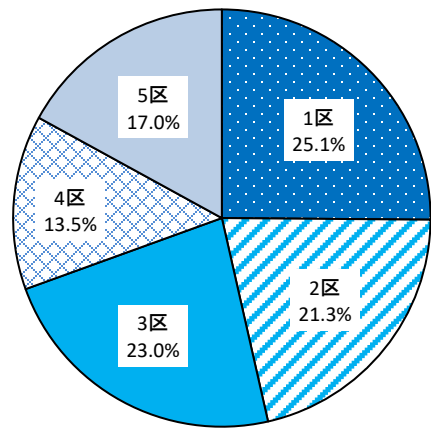
【職業】

事務・技術系の勤め	121	22.7%
現業・サービス系の勤め	79	14.8%
役員・管理職・自由業	24	4.5%
商工・自営業	46	8.6%
農・林・漁業	34	6.4%
専業主婦・主夫	65	12.2%
パート・アルバイト	69	12.9%
学生	20	3.7%
無職	66	12.4%
その他	3	0.6%
不明	7	1.3%
全体	534	100.0%



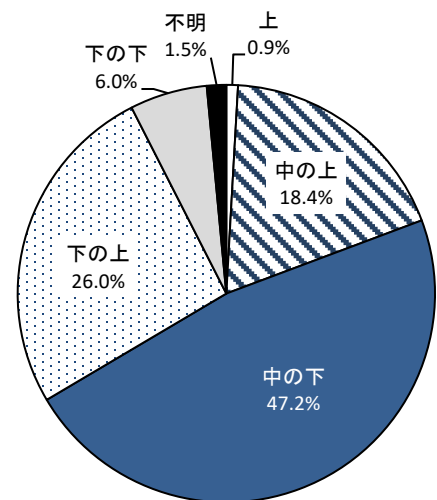
【衆院小選挙区】

1区	134	25.1%
2区	114	21.3%
3区	123	23.0%
4区	72	13.5%
5区	91	17.0%
全体	534	100.0%



【暮らしぶり】

上	5	0.9%
中の上	98	18.4%
中の下	252	47.2%
下の上	139	26.0%
下の下	32	6.0%
不明	8	1.5%
全体	534	100.0%



Ⅱ 調査結果 概要

有効回答 534 人

安倍内閣 支持率

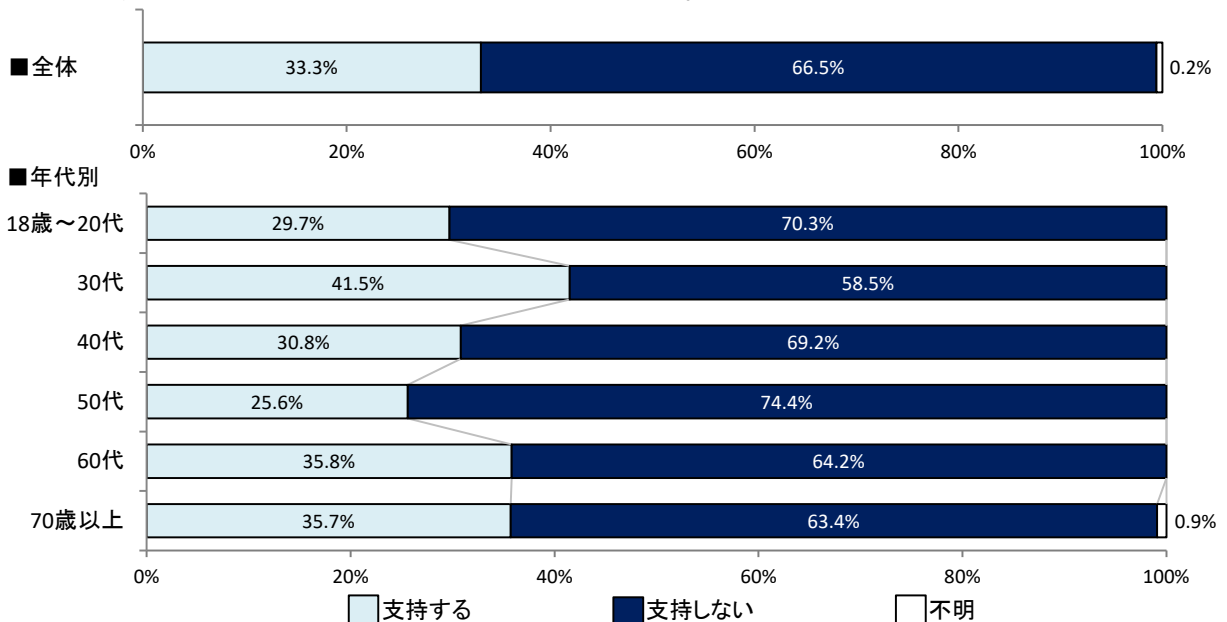
問1 あなたは、安倍内閣を支持しますか

◆支持 33.3% 不支持 66.5%

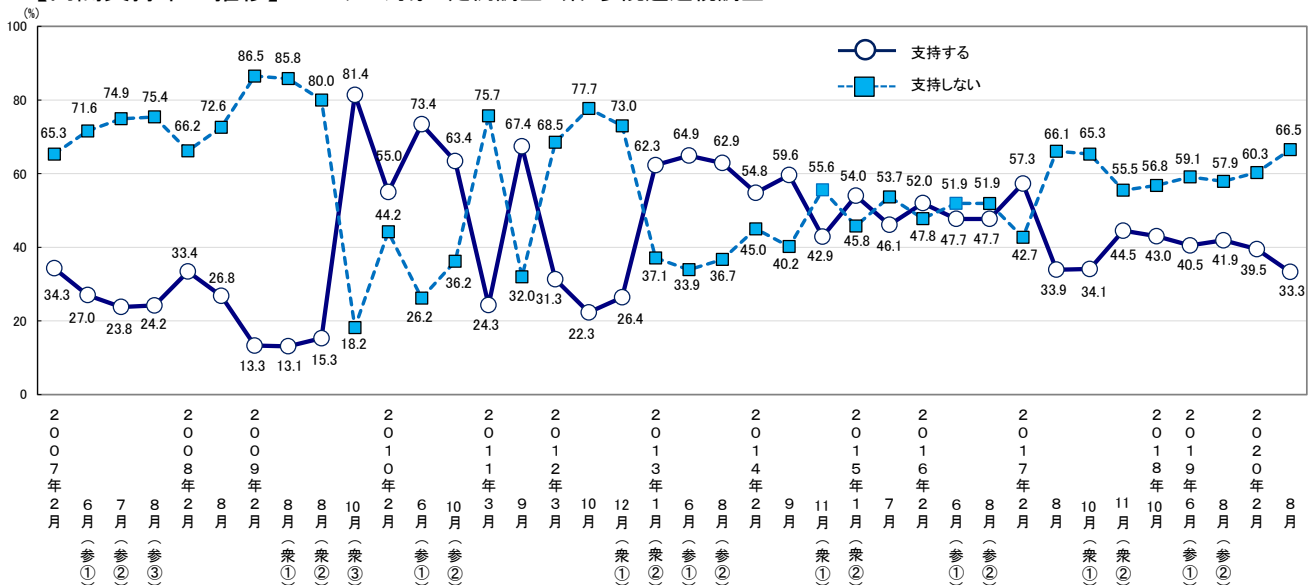
クロス集計 20 ページ

安倍内閣の支持率は 33.3% で今年 2 月の前回調査に比べ 6.2 ポイント減、不支持率は 66.5% で同 6.2 ポイント増。支持率と不支持率の差は約 2 倍に広がり、森友学園・加計学園問題などで支持率が急落した 2017 年 8 月調査並みの水準となった。

新型コロナウイルスを巡る政府の対応が評価されていないこと（問 5 参照）などが背景にあるとみられる。年代別にみると、不支持率は 50 代が 74.4%、18 歳～20 代が 70.3% と 7 割に達し、支持率は 30 代が 41.5% と唯一 4 割台。



【内閣支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



安倍内閣	福田内閣	麻生内閣	鳩山内閣	菅内閣	野田内閣	安倍内閣
------	------	------	------	-----	------	------

※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は定例調査を兼ね選挙後に実施している。他は定例調査。
 ※調査期間が月をまたいだ場合、実施の月は期間最終日の月としている。

問2 (問1で「支持する」とお答えの方にお尋ねします)

支持する理由は何ですか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください

◆支持理由 「ほかに適当な人がいない」 65.7%

クロス集計 21 ページ

「ほかに適当な人がいないから」との消極的理由が 65.7%と最多。今年2月の前回調査に比べ5.2ポイント増。次いで、「自民党中心の内閣だから」が36.5%。「首相の政治姿勢・手法が好ましいから」は12.4%にとどまり、今回も最も少なかった。

問3 (問1で「支持しない」と答えた方にお尋ねします)

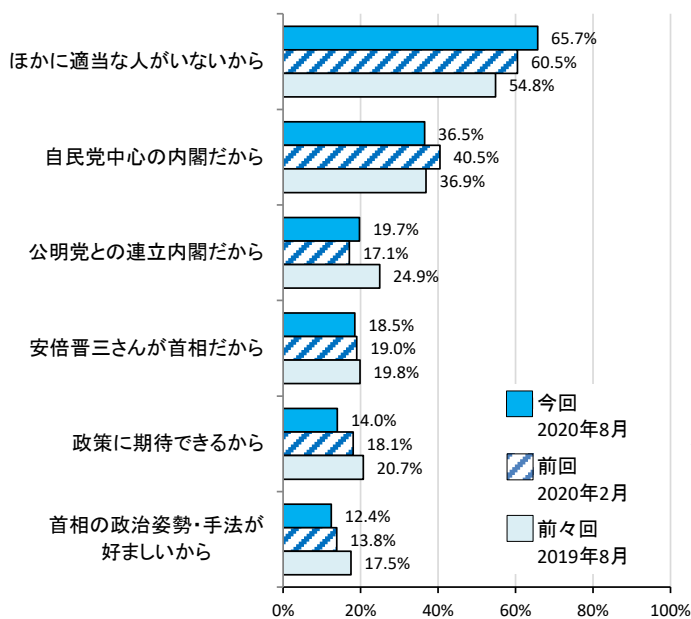
支持しない理由は何ですか。次の中から2つ以内に絞ってお答えください

◆不支持理由 「首相の政治姿勢・手法が好ましくない」 75.8%

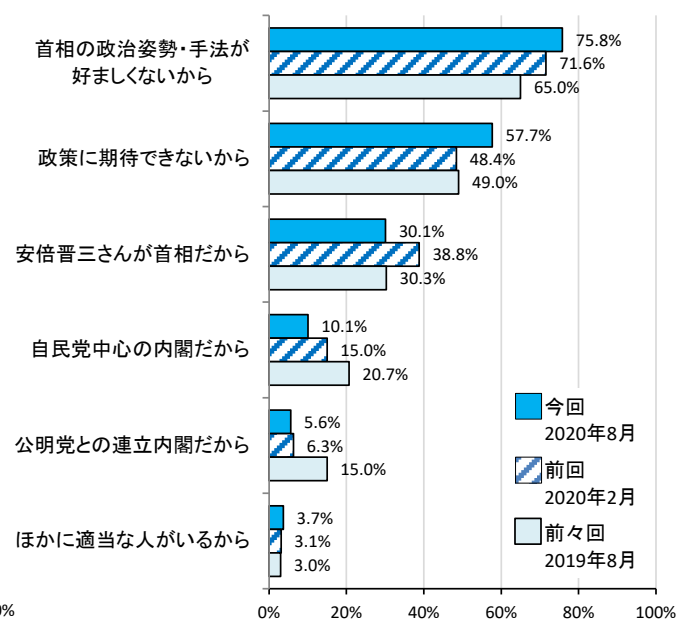
クロス集計 22 ページ

「首相の政治姿勢・手法が好ましくない」を挙げた人が前回調査比4.2ポイント増の75.8%で最多。次いで、「政策に期待できないから」が同9.3ポイント増の57.7%、「安倍晋三さんが首相だから」は8.7ポイント減の30.1%。順位は前回と同じだった。

■支持する理由



■支持しない理由



支持政党

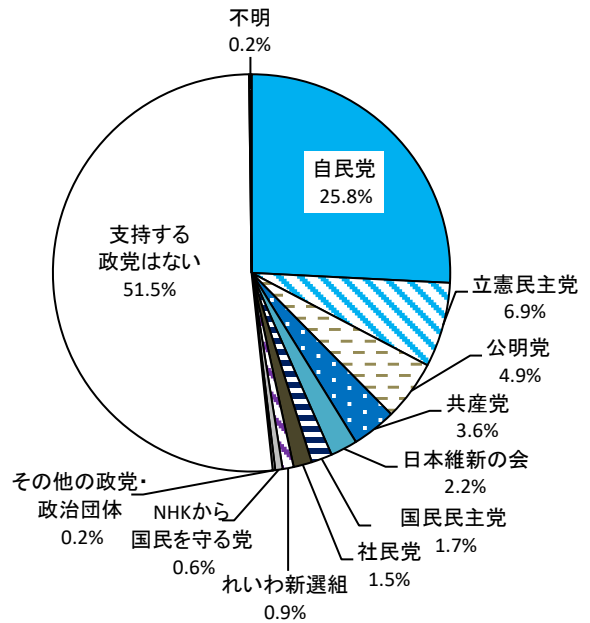
問4 あなたは、どの政党を支持していますか

◆自民 25.8% 支持なし 51.5%

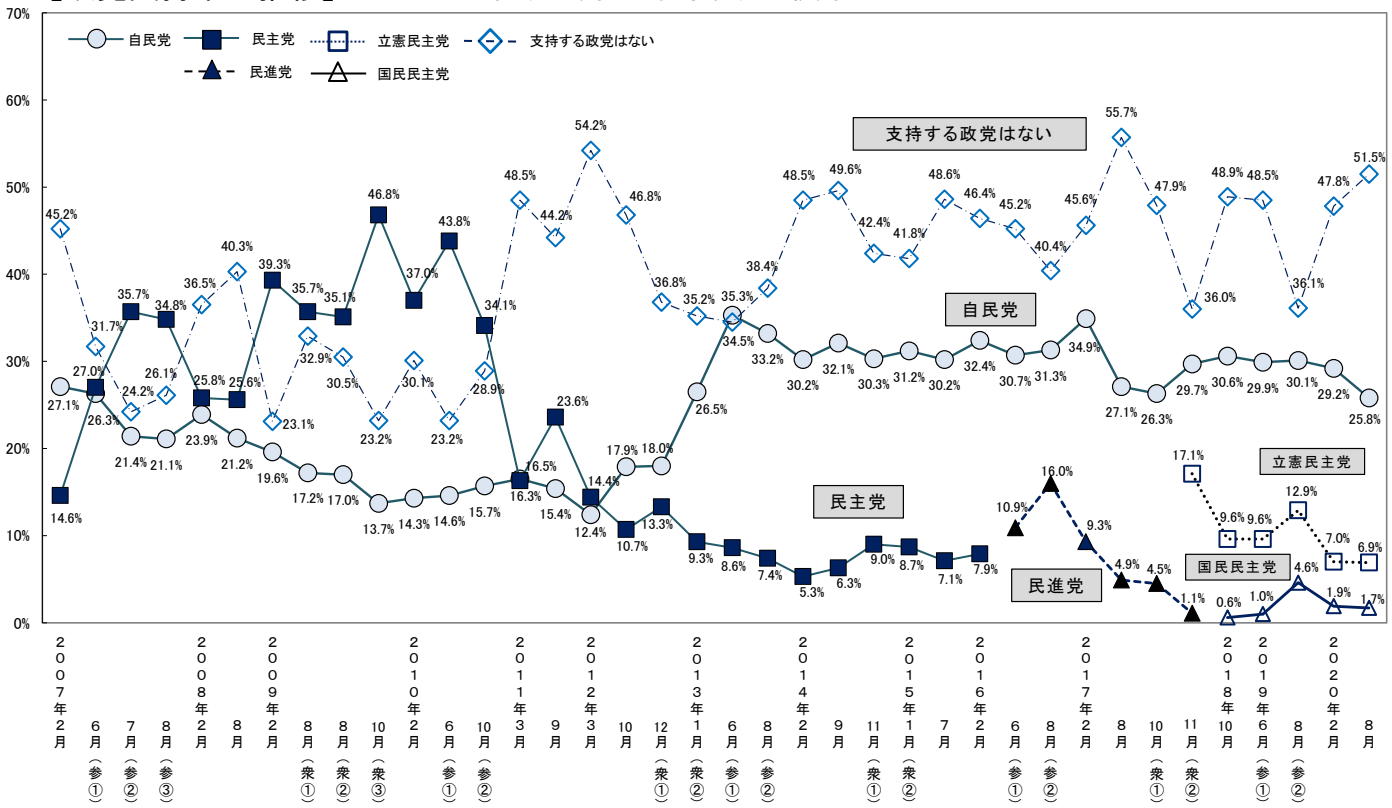
クロス集計 23 ページ

自民党支持は今年2月の前回調査比 3.4 ポイント減の 25.8%。次いで、立憲民主党 6.9% (前回調査比 0.1 ポイント減)、公明党 4.9% (同 0.2 ポイント増)、共産党 3.6% (同 0.2 ポイント減)。日本維新の会が 2.2% (同 1.6 ポイント増) で続き、国民民主党は 1.7% (同 0.2 ポイント減)、社民党が 1.5% (同増減なし)。

「支持する政党はない」無党派層は同 3.7 ポイント増の 51.5%と過半数に達した。



【政党支持率の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



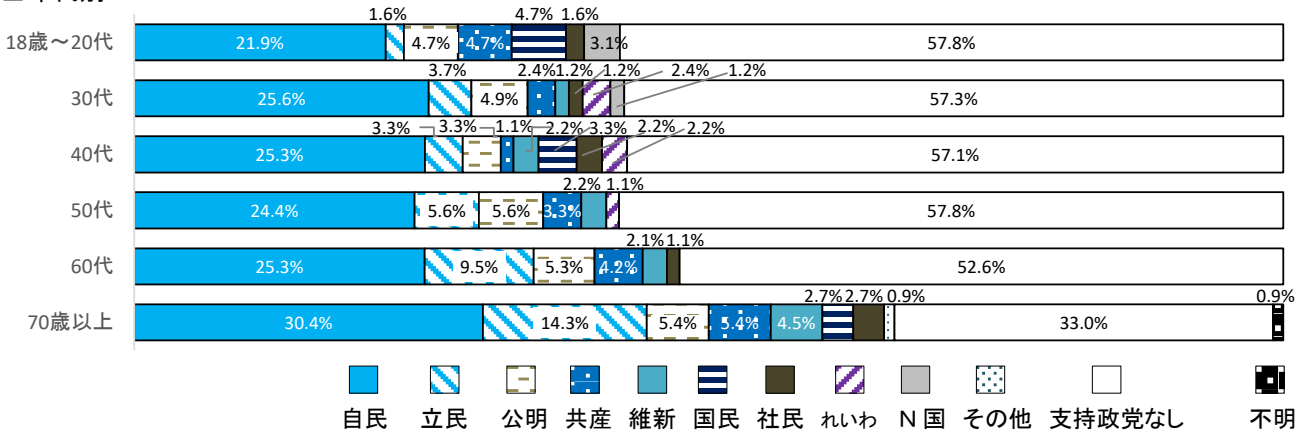
安倍内閣	福田内閣	麻生内閣	鳩山内閣	菅内閣	野田内閣	安倍内閣
------	------	------	------	-----	------	------

※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は定例調査を兼ね選挙後に実施している。他は定例調査。
 ※調査期間が月をまたいだ場合、実施の月は期間最終日の月としている。

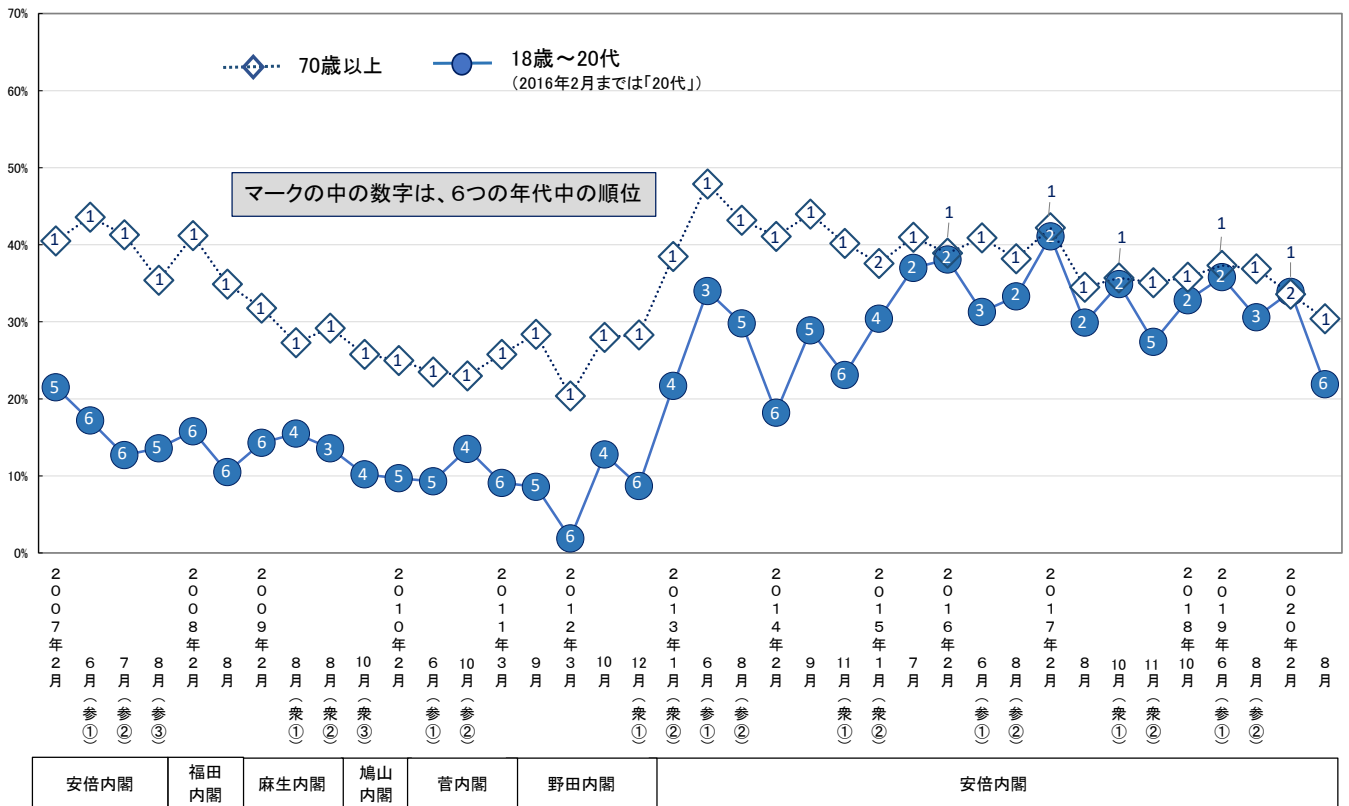
◆年代別 自民支持率、最若年世代が最下位に

自民党支持率を6つの年代別にみると、今回は70歳以上が30.4%と、今年2月の前回調査より3.2ポイント減ったものの、唯一3割に届き、トップ。18歳～20代の最も若い層は2015年7月調査以降、上位に浮上し、前は初めてトップとなったが、今回は一転、前回比12.0ポイント減の21.9%で最下位だった。30代は6.2ポイント減の25.6%。

■年代別



【自民党支持率 「70歳以上」と「18歳～20代」の推移】 モニター対象 定例調査と衆・参院選連続調査



※「衆①」は衆院選、「参①」は参院選のそれぞれ連続調査第1回。連続調査の第1回は公示前、最終回は定例調査を兼ね選挙後に実施している。他は定例調査。
 ※調査期間が月をまたいだ場合、実施の月は期間最終日の月としている。

新型コロナ 政府の対応

問5 あなたは、新型コロナウイルスを巡るこれまでの政府の対応を評価しますか。
評価しませんか

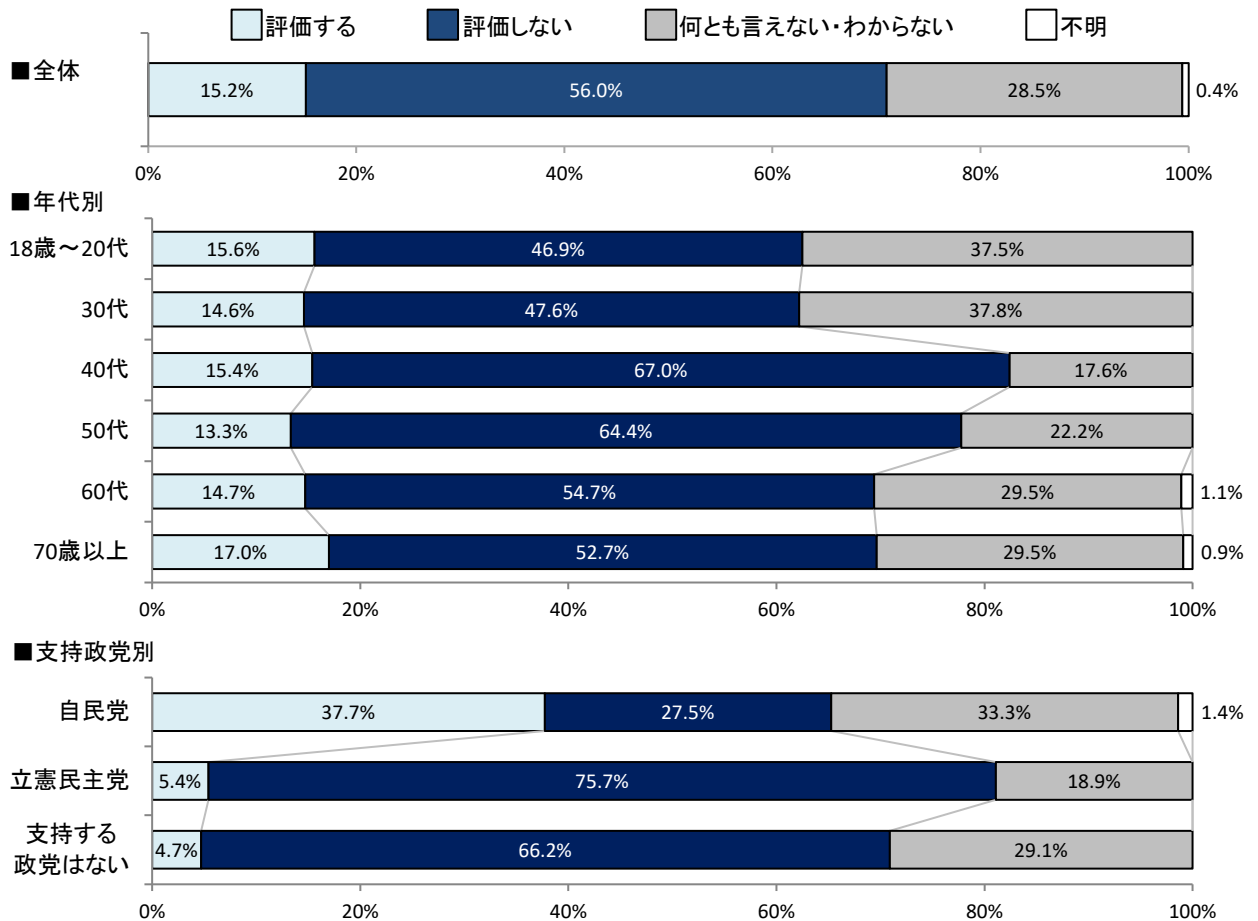
◆評価する 15.2% 評価しない 56.0%

クロス集計 24 ページ

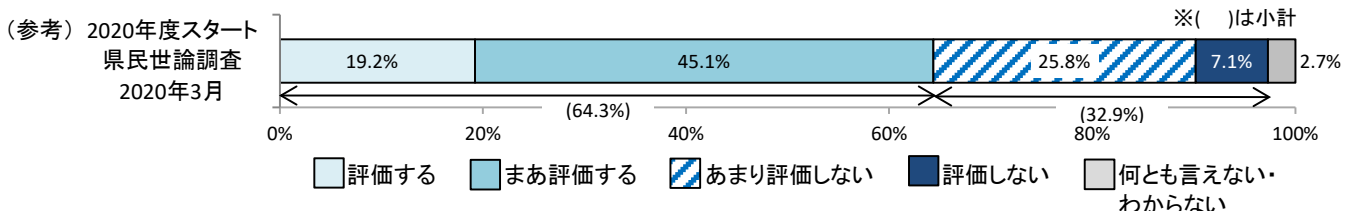
「評価しない」が56.0%と最も多く、次いで「何とも言えない・わからない」が28.5%。「評価する」は15.2%にとどまった。

年代別にみると、「評価しない」との回答は、40代、50代が60%台と高く、60代、70歳以上が50%台、18歳～20代、30代は40%台。

支持政党別では、自民党支持層は、「評価する」が37.7%と最も多いが、「評価しない」が27.5%、「何とも言えない・わからない」も33.3%。支持する政党はない無党派層では、「評価する」は4.7%、「評価しない」が66.2%に上った。



参考に、長野県世論調査協会が今年3月実施した「2020年度スタート 県民世論調査」（電話調査）の同じ質問では、「評価する」「まあ評価する」が計64.3%、「あまり評価しない」「評価しない」が計32.9%。調査方法、選択肢が異なるため単純比較できないが、政府に対する評価が下がっている傾向がうかがえる。



観光支援

問6 政府が、国内旅行代金の割引などで観光を支援する「G.O.T.トラベル」事業は、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ旅行需要を回復させる目的です。その一方で、感染が拡大することも懸念されています。あなたは、政府の観光支援について、どう思いますか

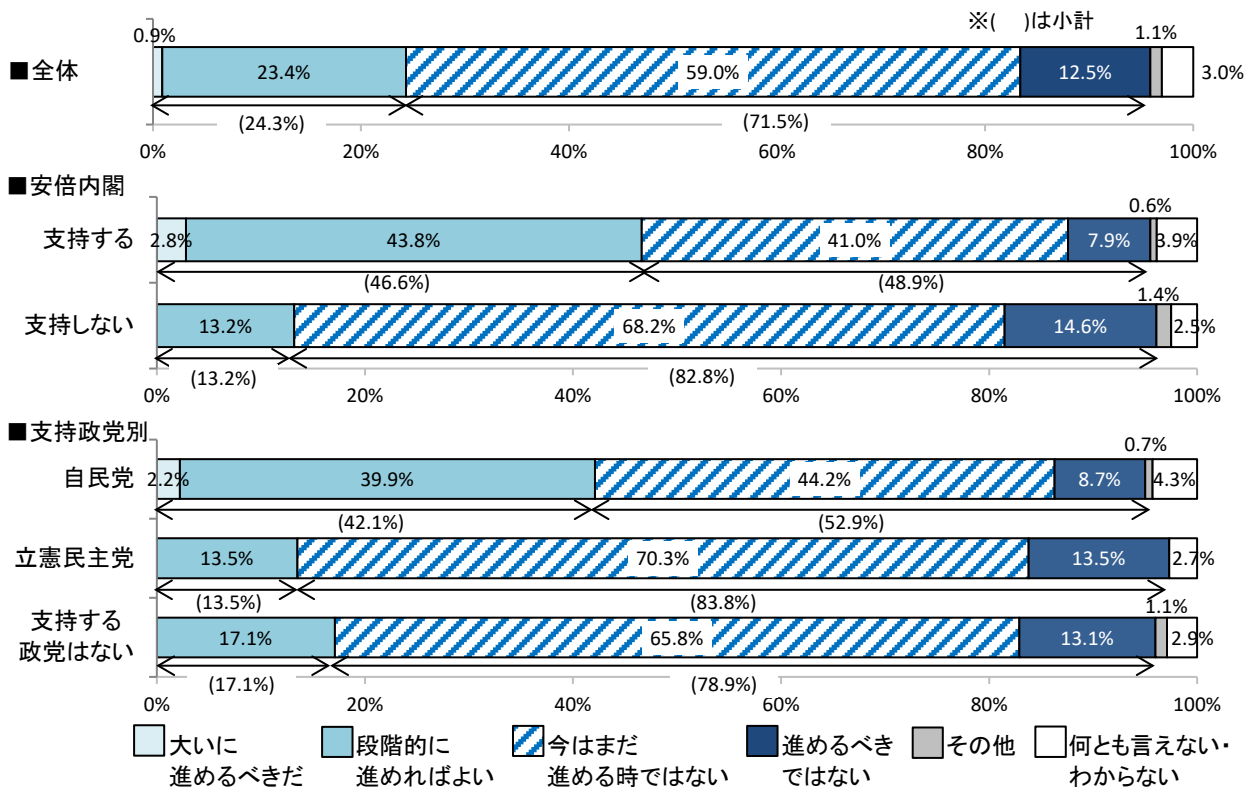
◆「今はまだ進める時ではない」6割近く

クロス集計 25 ページ

「今はまだ進める時ではない」が59.0%と最も多く、「進めるべきではない」の12.5%と合わせ71.5%と、観光支援事業に慎重な意見が多数だった。「段階的に進めればよい」が23.4%、「大いに進めるべきだ」はわずか0.9%。

安倍内閣を支持する層では、「段階的に進めればよい」が43.8%で最も多く、次いで「今はまだ進める時ではない」が41.0%。支持しない層では、逆転し、それぞれ13.2%、68.2%と大差がついた。

一方、支持政党別にみると、与党の自民党支持層も「今はまだ進める時ではない」が44.2%と最も多く、次いで「段階的に進めればよい」が39.9%。立憲民主党支持層、支持政党なしの無党派層では、「今はまだ進める時ではない」がそれぞれ70.3%、65.8%に達した。



経済活動は回復？

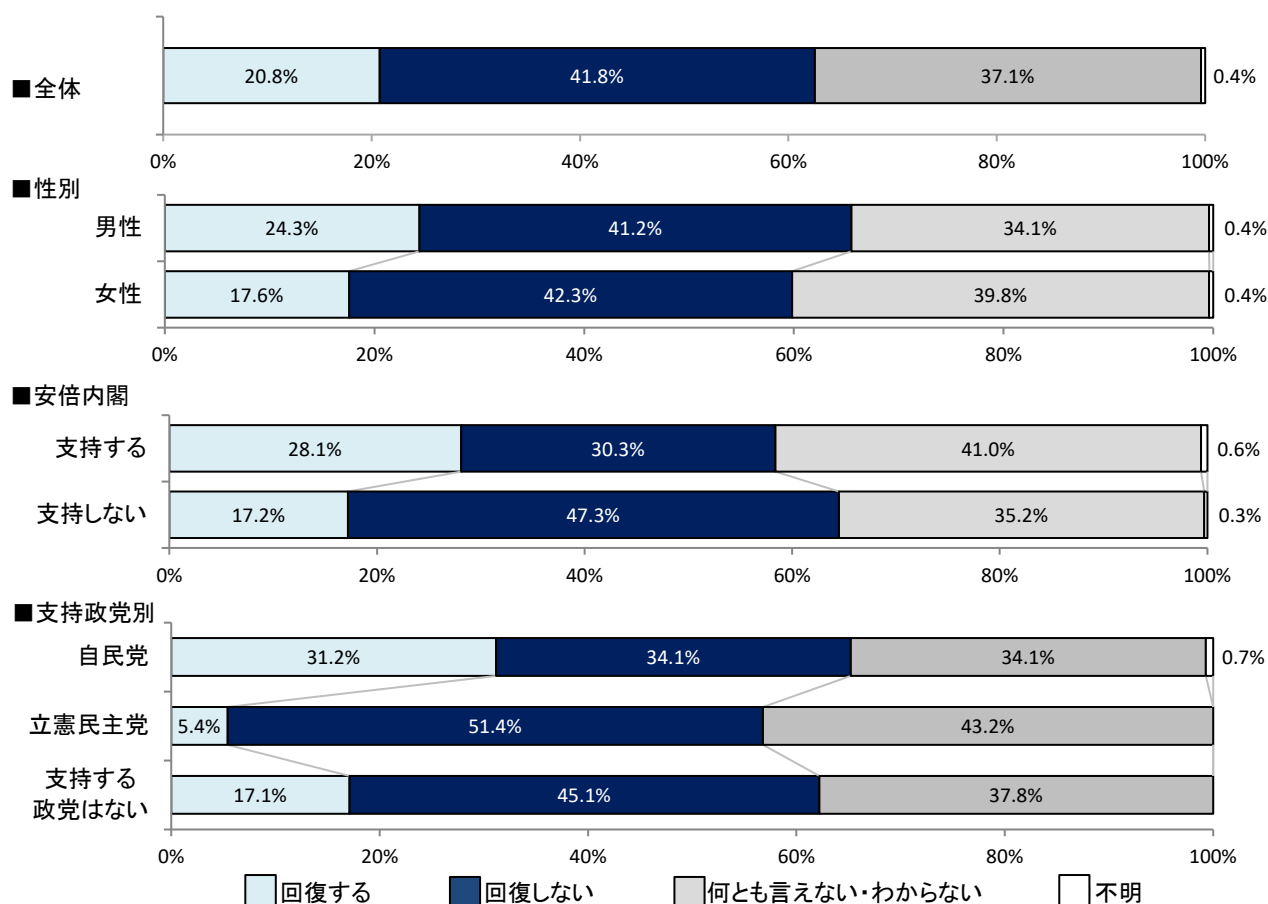
問7 あなたは、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ経済活動は、元のように回復すると思いますか。回復しないと思いますか

◆回復する 20.8% 回復しない 41.8%

クロス集計 26 ページ

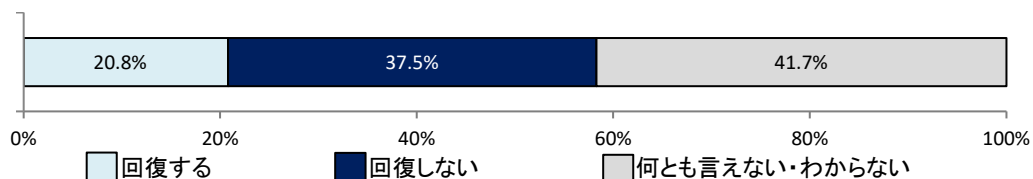
「回復する」と回答したのは20.8%で、「回復しない」が約2倍の41.8%。「何とも言えない・わからない」が37.1%。

男女別にみると、「回復する」は、男性が24.3%に対し、女性は17.6%と6.7ポイント低い。また、安倍内閣を支持する層では、「回復する」が28.1%、「回復しない」が30.3%と2.2ポイントの小差。これに対し、安倍内閣を支持しない層では、「回復する」が17.2%、「回復しない」が47.3%と厳しい見方をする人の割合が高く、30.1ポイントの大きな差が開いた。



(参考)

「新型コロナ」に関する
県民意識調査
2020年5月



補償・支援

問8 あなたは、新型コロナウイルスの影響で休業した事業所や、収入が減った人などに対する補償や支援は足りていると思いますか。足りていないと思いますか

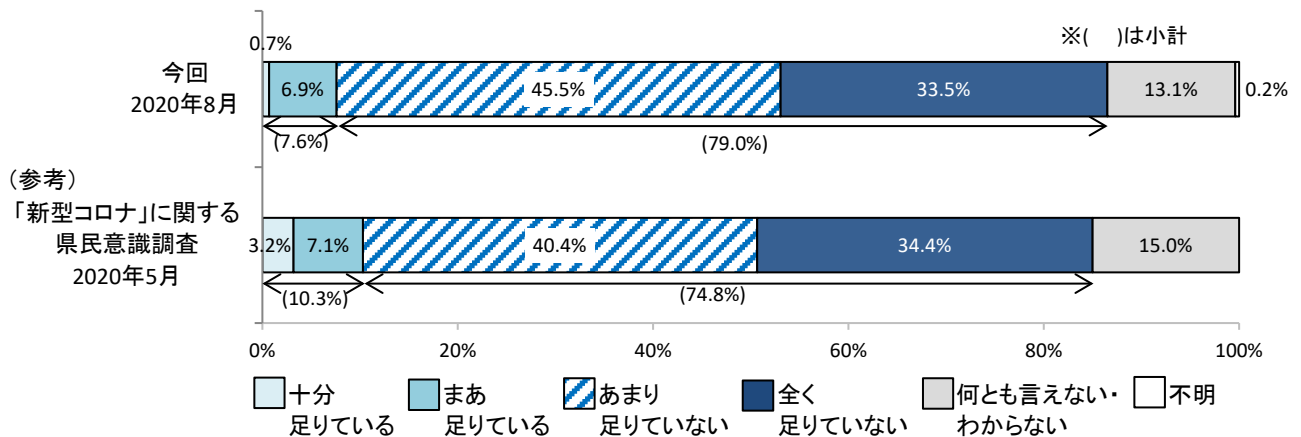
◆「あまり」「全く」足りていない 計 79.0%

クロス集計 27 ページ

「あまり足りていない」が最多の45.5%、「全く足りていない」が33.5%で、計79.0%。「まあ足りている」6.9%、「十分足りている」0.7%は、計7.6%。休業や減収に対する補償、支援が大きな課題になっていることを改めて示した。

職業別にみると、「あまり」「全く」足りていないの合計は、学生、現業・サービス系の勤め、専業主婦・主夫で8割台とやや高めに出た。

参考に、長野県世論調査協会が今年5月実施した『「新型コロナ」に関する県民意識調査』（電話調査）でも類似の全体傾向がみられた。



国や地方の財政

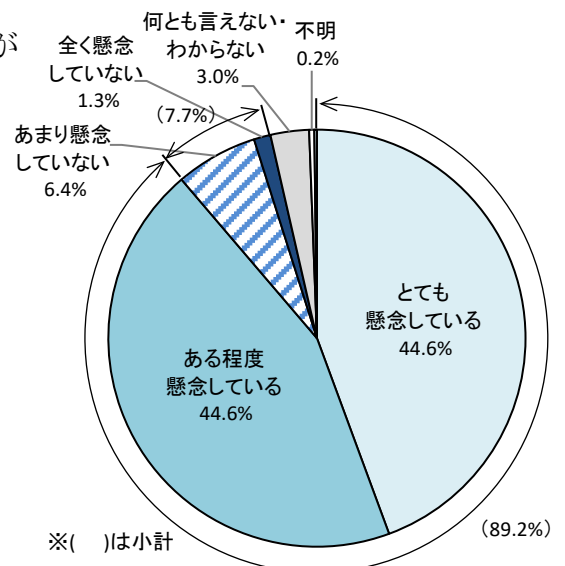
問9 あなたは、新型コロナウイルス対策により、国や地方自治体の支出が増え、財政が厳しくなることを懸念していますか。懸念していませんか

◆「とても」「ある程度」懸念 計 89.2%

クロス集計 28 ページ

「とても懸念している」「ある程度懸念している」がいずれも44.6%で、計89.2%。「あまり懸念していない」は6.4%、「全く懸念していない」はわずか1.3%。

休業や減収に対する補償、支援は足りていないが、国や自治体の財政運営も懸念されるという難しい局面にあることがわかる。



社会の仕組みや価値観は

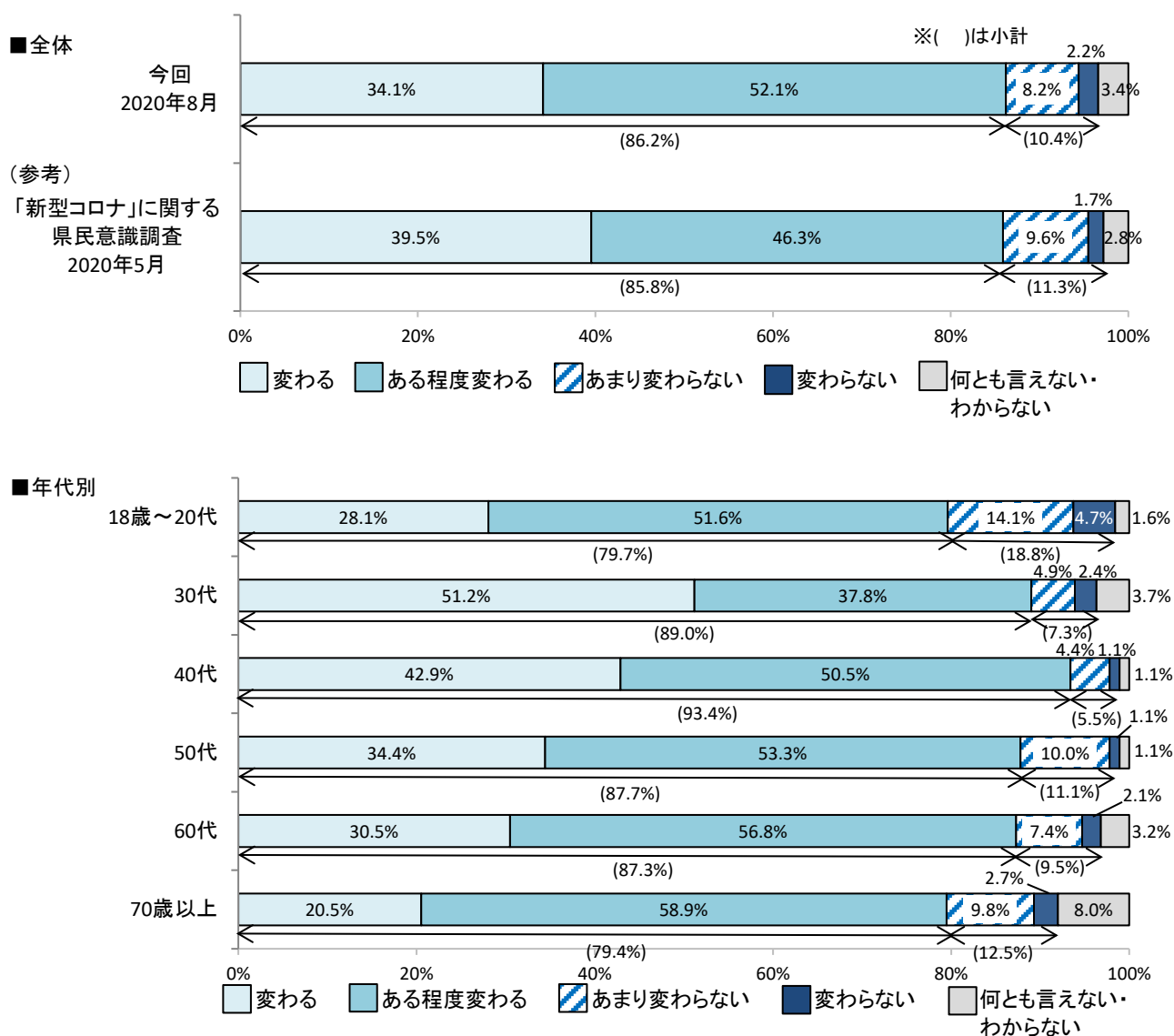
問10 あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大で、社会の仕組みや人々の価値観は変わると
 思いますか。変わらないと思いますか

◆「変わる」「ある程度変わる」 計 86.2%

クロス集計 29 ページ

「ある程度変わる」が半数強の 52.1%、「変わる」が約 3 人に 1 人の 34.1%で、計 86.2%。
 今年 5 月の『「新型コロナ」に関する県民意識調査』（電話調査）と概ね類似の傾向を示した。

年代別にみると、「変わる」との明確な回答は、唯一 30 代で 51.2%と半数強に達したの
 に対し、70 歳以上では 20.5%にとどまった。



来年の東京五輪・パラ

問 1 1 あなたは、東京オリンピック・パラリンピックは、来年開催できると思いますか。
開催できないと思いますか

◆「たぶん開催できない」「開催できない」 計 68.4%

クロス集計 30 ページ

新型コロナウイルスの影響で、1年延期となった東京オリンピック・パラリンピック。「たぶん開催できない」が47.4%と最も多く、「開催できない」が21.0%で、計68.4%。「たぶん開催できる」は17.0%、「開催できる」は2.1%で、計19.1%。

安倍内閣の支持、不支持の別でみると、支持する層では、「たぶん開催できる」「開催できる」が計29.8%、「たぶん開催できない」「開催できない」が計55.6%。これに対し、支持しない層では、それぞれ計13.5%、計74.9%と差が大きく開いた。

